
僕の親は無限の欲望

楚良

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕の親は無限の欲望

【Nコード】

N2357BA

【作者名】

楚良

【あらすじ】

気が付いたら目の前には神様が！

主人公はなんでか前世の記憶を持たぬまま転生！

転生先はまさかのスカリエッティのアジト！？

他の転生者がいる中、原作知識どころか前世の記憶がない主人公はどうするのか！？

プロローグ？（前書き）

どうも、楚良です。

頑張って完結まで持ってい行けるよう頑張ります。

ちなみに転生ものの初挑戦です。

応援してくれたらうれしいです。

プロローグ？

「突然だがお主には転生してもう」

「はあ？」

少年が気がつくところは一面真っ白。水平線の向こうまでが真っ白で、障害物はおろか、雲も太陽も何もない空間だった。

そして少年の目の前には無駄に髭の長い老人。一瞬、頭打っておかしくなったか？と思ってしまいが、この老人は限りなく正常だ。

「おじいさん、何言ってるの？もしかしておばあちゃんが死んだから狂って」

「すまんがわしは正常じゃよ。話を進めたいんじゃないか？」

「ダメって言ったら？」

「地獄に墜とす」

「サーイエッサー！」

「老人の説明開始」

この老人はなんと神という存在だった。少年は神に少しだけだが喧嘩を売っていたのだ。

しかし、この神様は本当に優しい。

そんなことをなかったかのように接してくれた。

しかも人の心が読めるらしく、少年の考えたことは筒抜け。

少年はビククリしていたが、そこまで驚かれなかったことに神様は少し落ち込んだとか。

それと転生させてもらえる理由が気まぐれらしい。

適当に選んだのがこの少年ということだ。

「という訳で好きな望みを言え。何でもかなえてやるぞ」

「その前にどの世界に転生するの？」

「そういえば言っていなかったの。『リリカルなのは』の世界じゃ」

「・・・マジ？」

「大マジじゃ」

『魔法少女リリカルなのは』

二次創作などではよく見かけたりする。

各言つこの少年も結構好きなアニメでもあるのだ。

そこで少年はあることを思いつく。

神様が何でもかなえてくれると言つことなので早速頼んだ。

「それと、スカリエツティ側」

「良いじゃろう。して、他には？」

「そして最後に」

「前世の記憶を消してくれ。原作知識も全部」

「・・・お主、本気で言っておるのか？」

「おう、二度目の人生だ。前世の記憶に邪魔されたら詰まんないだろ？」

「はっはっはっ！！お主のような人間は始めてじゃ！よし、これも何かの縁。特別特典を授けよう！」

「いらないけど、一応受け取っておくよ」

「それと、最後に忠告じゃ。お主の他にも転生者はおる。気を付けるのじゃぞ」

「・・・記憶消すんだからそれ意味なくね？」

「つべこべ言わんで、行つて来い」

そう言うと、少年の足元が丸く、黒くなる。

さらに言つと脚が地面についている感覚がなくなった。
つまりは

「落ちんのかよーっ!!!!!!」

プロローグ？（後書き）

次回はキャラ紹介（たぶん
その次から本編となります。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2357ba/>

僕の親は無限の欲望

2012年1月5日23時47分発行